

# Advanced 南薩

グアテマラ 南薩富士

令和2年1月発行

南薩教育事務所長 下假屋 誠

令和初のお正月、皆様は穏やかに過ごされたでしょうか。近年では、おせち料理をネットで注文し宅配で受け取る家庭が急増しているそうです。そして、このおせちがとてもおいしいとの評価を受けており、企業努力とともに冷蔵・冷凍技術の進歩にも驚かされます。また、キャッシュレスの波が押し寄せ、老若男女を問わず、「〇〇ペイ」が広がりました。お年玉やお費銭までキャッシュレスという場合があるそうです。さらに、働き方改革がこれほどまでに声高に叫ばれる社会になるとこれだけの人が予想していたでしょう。教育は、社会や環境の変化に対応しなくてはなりません。これまで教育に携わってきた先輩方も、それぞれの時代において、子供たちのために、自らの生活や時間の枠を超えて力を尽くしてこられました。

これからのわたしたちは、一層激しくなった変化の波に子供たちをさらわれまいよう、そして、自らも飲み込まれないよう、子供も自分自身も同じように大切にしながら進んでいかなければなりません。

いつの時代でも、教師とは、子供のためなら努力を惜しまない人たちであることを私は知っています。だからこそ、努力の仕方や努力の方向を間違っってはなりません。



## ねずみは何が好きか

指導課長 米山武彦

アニメなどで「ねずみがチーズを好んで食べる」シーンがよく見られます。このことを当たり前のことと捉えている人は多いのではないのでしょうか。ところが、実験によって「ねずみがチーズを好物としているわけではない」ことが確認されたそうです。学校においても当たり前と思っていたことに疑問を抱かずに、周りの声にハッとすることがあります。例えば、避難訓練では子供たちを避難場所に素早く安全に避難誘導することに注力しますが、「今まで安全とされていた避難場所は本当に安全か」ということです。このことは学習指導や生徒指導などにも言えることです。学校はこれから「まとめの時期」、そして「次年度への準備の時期」を迎えます。常識や思い込みにとらわれず、昨年の反省をもとに、改善を加えた取組へのチャレンジが必要です。そのチャレンジが、組織や個人の成長につながっていきます。だからこそ、不易と流行を踏まえつつ、常に「その根拠は何か」という視点をもつことが大切です。

### 年度末に向けて再確認しましょう

#### 1 個人情報、公文書等の厳正な管理

個人情報の保管・管理について、全職員が共通理解していますか。

- ・ 児童生徒の個人情報など職務上知り得た情報の取り扱いには、細心の注意を払う。
- ・ 個人情報の記載された文書やUSBなどの記録媒体を放置したり、不正に校外に持ち出したりしない。

#### 2 会計事務の適正化と金品の管理

学級会計等を含む会計事務について、複数の職員による校内監査により確実に実施していますか。

- ・ 現金は、学校で保管することなく速やかに金融機関へ預け入れる。
- ・ 金品の管理を厳重にし、盗難防止に努める。

### 運転中の「ながらスマホ」が厳罰化されました

昨年12月から「ながらスマホ」が厳罰化され、違反点数が3倍、反則金も高額になっています。

- × カーナビ画面の注視
- × 携帯電話画面の注視 **NG!**
- × 携帯を持つでの通話

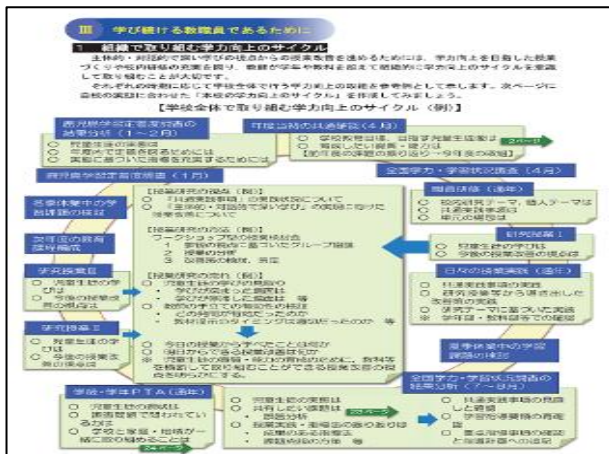
ほんの一瞬であっても、運転中のスマホは絶対にやめましょう。

		違反点数	罰則
携帯電話使用等	保持	3点	6月以下の懲役または10万円以下の罰金
	交通の危険	6点	1年以下の懲役または30万円以下の罰金
反則金	保持	大型車	2万5000円
		普通車	1万8000円
		二輪車	1万5000円
		原付車	1万2000円

## 「年度のまとめと当該学年の確実な定着」

令和2年がスタートしました。子供たちは「今年を、どんな年にしたい」と願っているのでしょうか？卒業や進級・進学を控え、3学期はまとめの学期です。当該学年で学習した内容はもちろんのこと、当該学年までに学習した内容まで、確実な理解が図られ、しっかり定着できるように、計画的な指導をお願いします。

「学びの羅針盤」の21ページには、組織で取り組む学力向上のサイクル例が示されています。1月はPDC AサイクルのCからAの段階と考えます。児童生徒の学力の実態を把握しつつ、残りの日々でどのように補充したり、確実な定着を図ったりするのか、学校全体で組織として学力向上に取り組んでいただきたいと思います。



## 「児童生徒の犯罪被害防止」

鹿児島県警察によりますと、中学生以下の児童生徒等に対する声掛けやつきまとい事案等は343件（令和元年1月～11月現在）で、特に女子生徒に対する痴漢、盗撮、公然わいせつ事案が多く発生しているとのことです。

### 【迅速な対応、未然防止のために】

- 携帯電話やスマートフォンを操作したり、音楽を聴いたりしながら歩く「ながら歩き」はしない。
- 明るく、人通りの多い道を通るようにする。
- 暗くならないうちに早めに帰宅する。
- 人ごみでは、バッグ等の持ち物で身体をガードする。
- 見知らぬ人から個人情報を知られたり、握手を求められたりしたときは、きっぱりと断り、相手にしない。
- 不審者に遭遇した場合は、「大声を出す」「防犯ブザーを鳴らす」などして、近くの人に助けを求める。
- 万が一被害に遭った場合は、速やかに警察に通報する。

## 「令和元年度体力・運動能力調査」～県との比較（南薩地区）

種目	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横跳び		20mシャトルラン		50m走		立ち幅跳び		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	▲	△	○	▲	△	△	◎	○	◎	◎	○	△	○	◎	○	○
小4	▲	△	△	△	△	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○
小5	▲	▲	○	○	○	○	◎	▲	○	△	○	◎	◎	◎	○	○
小6	▲	△	○	○	▲	△	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	○
中1	○	△	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	△	△
中2	○	△	○	◎	△	△	◎	◎	○	◎	△	○	○	◎	△	△

県の平均値を50とし、◎=52以上、○=50以上52未満、△=48以上50未満、▲=48未満で表しています。

- \* 全体的にみると、67.7%の種目で県平均を上回っている（小学校67.1%、中学校68.8%）。昨年度の55.2%（小学校65.6%、中学校31.2%）と比較すると向上している。特に中学校は大きく向上し、改善がみられる。
- \* 種目別にみると、小学校、中学校ともに「握力（筋力）」「長座体前屈（柔軟性）」に課題があり、また、小学校は「上体起こし（筋持久力）」、中学校は「ボール投げ（投力）」にも課題がある。

## 令和元年度鹿児島県児童生徒の読書量調査の結果について（令和元年10月調査：南薩地区）

1か月間の一人当たり平均読書冊数	学年	小2年	小4年	小6年	中1年	中2年	中3年
	地区	28.8冊	22.1冊	19.1冊	7.8冊	6.9冊	5.8冊
	県	30.1冊	24.2冊	18.0冊	7.4冊	6.0冊	4.8冊
不読者数の割合	学年	小2年	小4年	小6年	中1年	中2年	中3年
	地区	0.3%	1.5%	0.7%	4.9%	5.1%	5.4%
	県	0.3%	0.4%	0.5%	1.7%	1.6%	3.7%

※ 県の読書の状況と比べると、本地区児童生徒はよく取り組んでいます。不読者の割合が高くなっている点に課題があります。全ての児童生徒が、読書の楽しさを味わうことができる取組を計画的・継続的に推進してください。